

常夜灯ワークショップ

この 2 時間のワークショップでは、薄い木製パネルからミニチュアの伝統的な常夜灯ホルダーを作ることができます。ホルダーは高砂のお土産として持ち帰ることができます。参加者は、ホルダーを飾るための材料を選ぶことができます。これには、水引飾り紐（包装されたギフトを結ぶのによく使用されます）、装飾用の手漉き和紙、地元産の竜山石、松右衛門帆などが含まれます。アクティビティでは主に、付属の接着剤を使用します。

常夜灯ホルダーは中央が開いており、参加者が希望する場合は、ホルダー内に LED ライトを取り付けて電球として使用できます。LED ライトはワークショップ料金に含まれています。

ワークショップは、工楽松右衛門（1743～1812）の子孫の旧宅で開催されます。工楽は地元の実業家であり発明家で、船の帆として全国的に普及した松右衛門帆の製造方法を開発したことで最もよく知られています。

ワークショップは小さなお子様連れのご家族に適しています。料金はお一人様 500 円です。予約が必要です。お問い合わせ・ご予約は work_shop@takasago-tavb.com までメールいただくか、高砂市観光交流ビューローホームページよりお申し込みください。